

QA 6

問 どんないほく博を目指しているのか
観光地等受け入れ体制は万全か

答 地域の元気づくりを目指す

▽小笠原妙子議員
嶺北の玄関口として本町の地の利を生かし、積極的に観光客を受け入れることができる万全の体制がとれるよう周知されているか。またどのような博覧会を目指しているのか。

▽岩崎憲郎町長

今回の博覧会は、地域全体で長期的にひとつのテーマを基に実施するもので、従来のパビリオン型とは違い地域全体が会場となる地域博である。日常の生活の営みの魅力を伝え、交流人口の拡大による元気づくりを目指す。

▽小笠原妙子議員
パンフレットは作成されているが、各観光スポットに情報等周知

▽岩崎憲郎町長
各施設でのイベントは、カレンダーを作成し配布している。行政主導ではなく住民参加

し、受け入れ体制などの周知ができていないか。



土佐れいほく博覧会

QA 7

の地域博なので理解をお願いしたい。

▽小笠原妙子議員

全体的に盛り上がりに欠けていると感じたので、町としてもっと積極的にPRしてほしい。

問 超低空飛行訓練中止を求めよ
共同しての申し入れを要請する

答 適時適切に対応する



前野由和議員

4月11日米軍機による超低空飛行訓練があった。同航路を、わずかの時間差でドクターヘリの運行があった。嶺北共同での抗議・中止の申し入れを行ったのかを聞く。

▽岩崎憲郎町長

嶺北町村一体となつ

い。

▽岩崎憲郎町長

足りない点があれば指摘してもらい、皆さんが共に取りくんでもらえるよう取り組みを進める。

▽前野由和議員
地域協定のもとに危険極まりない訓練をすることについて、住民は危険や不安を感じている。「安全安心で心豊かに住み続けられる地域づくり」のために執るべき態度と行動を要請する。

▽岩崎憲郎町長

飛行訓練については、過去に総意として全国町村会でも要請した経緯もあり、住民の安全を守る視点から適時適切な対応をしている。

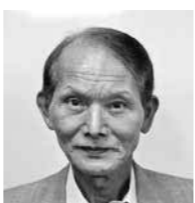
QA 8

問 政策中心の選挙への検討は
具体策への検討経緯を聞く

答 議員間でも議論すべき

▽前野由和議員
投票率を上げる対策として期日前投票の拡

充など調査・検討を重ねていると思うが経緯を聞く。



小笠原征太郎
選挙管理委員長

期日前投票については、今後実施期日を延長する対応を図っていく。期日前移動投票については、現在投票所を開設できる状況なので、困難になった時点で検討する。

▽前野由和議員

選挙公報の発行、ゆとりすと放送の活用、立会演説会実施など政策中心の本来の姿を具体化することができないか所見を問う。

▽小笠原征太郎選挙
管理委員長

公平性の点からも選挙用はがきポスター、個人演説会を活用して問いかけることが必要だと考える。

QA 7

問 農林業へ大きな影響「家族農業
10年」にふさわしい支援を望む

答 小規模宮農への支援を継続する



小川 進
農業委員会会長

▽前野由和議員
今年から国連は「家族農業の10年」と定め、制度や財政的担保を要請している。町の具体的な取り組みを要請する。

▽岩崎憲郎町長
議会の場においても今後の制度の在り方、参加しやすい選挙など

議論すべきと考える。その結果を尊重し共に取り組んでいく。

▽岩崎憲郎町長

本町では水田面積が



家族農業

QA 7

問 語り継ぐ使命がある
戦争体験の風化を防ぐ困難がある

答 平和は町民共通の願いだ



池添修一
教育長

▽前野由和議員
国会議員の「戦争をして島を取り戻す…」発言が問題となったことや戦争遺跡が数人の少年たちに破壊された事件が起こった。二度と不幸な戦争を繰り返さないために体験を語り継ぐことの大切さと難しさを感じた。具体的な取り組みを要請する。

中学校では戦争や平和について、しっかりと向き合い考えることを重視して指導しており、沖縄への修学旅行は歴史的な施設の研修、民泊による聞き取りなど平和学習を深めている。
今後も平和や命の大切さをしっかり指導していく。

▽岩崎憲郎町長
町政についての質問と受け取れば、以前にも同じ趣旨の質問があったが、平和教育の必要性、重要性は町民共通の認識だと理解している。大豊町住民にとって指摘されたことは該当しないと思う。